

# 第3回まちづくり勉強会の開催概要 (2, 3面の続き)

グループ別検討の記録

## C 班の検討結果

**C 班の方のお住まいのエリア**

**落合公園**  
・災害時には消火栓が使用できなくなることも想定されるため、公園の整備とあわせて防火水槽を設置する

**F 路線**  
・権利者少ないため整備しやすいのでは  
・幅員があれば、災害時の物資配布なども行える

**川口赤山団地**  
・地域の防災倉庫の設置や、避難場所とするなど、災害時の拠点とできないか

**B 路線**  
・段階的な整備ができないか。まずは 4m、最終的に 6m

**1 路線**  
・一部セットバックすれば 4m 確保できる

**鳩ヶ谷浄水場**  
・浄水場の広場部分を避難スペースにできないか。特に高齢者は、桜町小学校への避難が難しいため、身近な場所で災害時の避難場所を確保する必要がある  
・浄水場に人員（職員）を配置できないか  
・防災倉庫を配置し、水害時の拠点として機能させたい

**その他**  
・将来を見越した計画づくりが重要である  
・水害なども多いため、地歴、地形を考慮した計画づくりが必要  
・まちづくりを進めて行く上で、庁内関係課との連携が必要。来年度以降の協議会の場にはぜひ同席してほしい

## 今後の予定

今年度の勉強会での検討結果を踏まえて「整備の方向性」を取りまとめ、5月頃、報告会を開催し、住民の皆さまにご報告する予定です。その後、勉強会を発展させた「まちづくり協議会」を設立し、「整備の方向性」をもとに「整備計画（案）」の策定に向けて検討していきます。



勉強会の記録を含め、桜町地区のまちづくりの動向を市ホームページでご紹介しています。市ホームページの検索欄にて「桜町まちづくり」と入力して検索し、「桜町地区のまちづくりについて」をクリックするとご覧いただけます。ぜひご覧ください。

### 【問合せ先】

川口市 都市整備部 都市整備管理課(鳩ヶ谷庁舎2階)  
TEL: 048-280-1220 (直通) FAX:048-285-2002

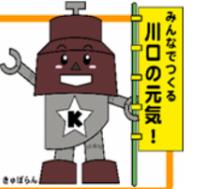
## 桜町地区

No.8

# まちづくりニュース

発行：川口市都市整備部都市整備管理課  
編集協力：(株)地域計画連合

## 「桜町地区まちづくり勉強会」では、道路ネットワークの検討を行いました！



桜町地区では、「安全・安心で住みよい環境づくり」を目標に、昨年9月に「まちづくり勉強会」を立ち上げ、地区の重点課題である密集市街地の改善に向けた「整備の方向性」を取りまとめるため、主に将来の道路ネットワークの検討を行ってきました。

このたび、前号(平成30年10月発行)のまちづくりニュースでご紹介した第1回勉強会に続き、第2回、第3回勉強会を開催しましたので、その検討経過をご報告します。

## 第2回・第3回勉強会の検討経過

**【検討内容】**

- お住まいの場所が近い方同士で構成されるグループで、お住まいのエリアや日頃良く利用するエリアに必要な道路を検討しました。

**【検討結果】**

- 右図に示す3本の「骨格となる道路(整備すべき重要な道路)」が挙げられました。

（11月17日開催、出席22名）

**【検討内容】**

- 第1回、第2回勉強会での検討結果を踏まえ、「道路ネットワーク(検討案)」をお示しし、その内容についてグループ別に検討を行いました。

**道路ネットワーク(検討案)の内容と、グループ別の検討結果は、2面～4面をご覧ください。**

（2月9日開催、出席18名）

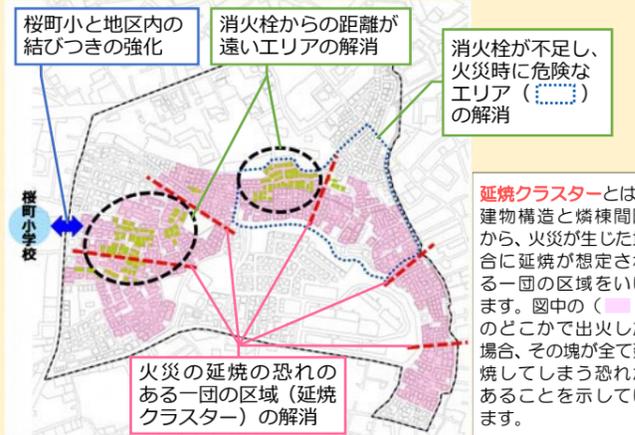
# 第3回まちづくり勉強会の開催概要

改善が必要な防災上の課題や安全な市街地の形成に向けた道路ネットワークの考え方、道路ネットワーク（検討案）をご説明し、その内容についてグループ別に検討を行いました。

説明内容

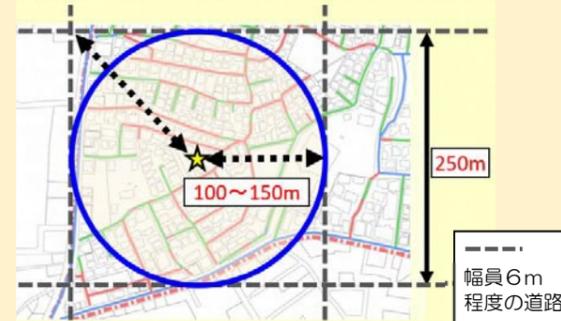
## 改善が必要な防災上の課題

- 避難**
  - 災害時の避難等を円滑にするために、桜町小との結びつきの強化
- 延焼**
  - 火災の延焼の恐れのある一団の区域（延焼クラスター）の解消
- 消火活動**
  - 消火栓からの距離が遠い等、火災時に危険なエリアの解消



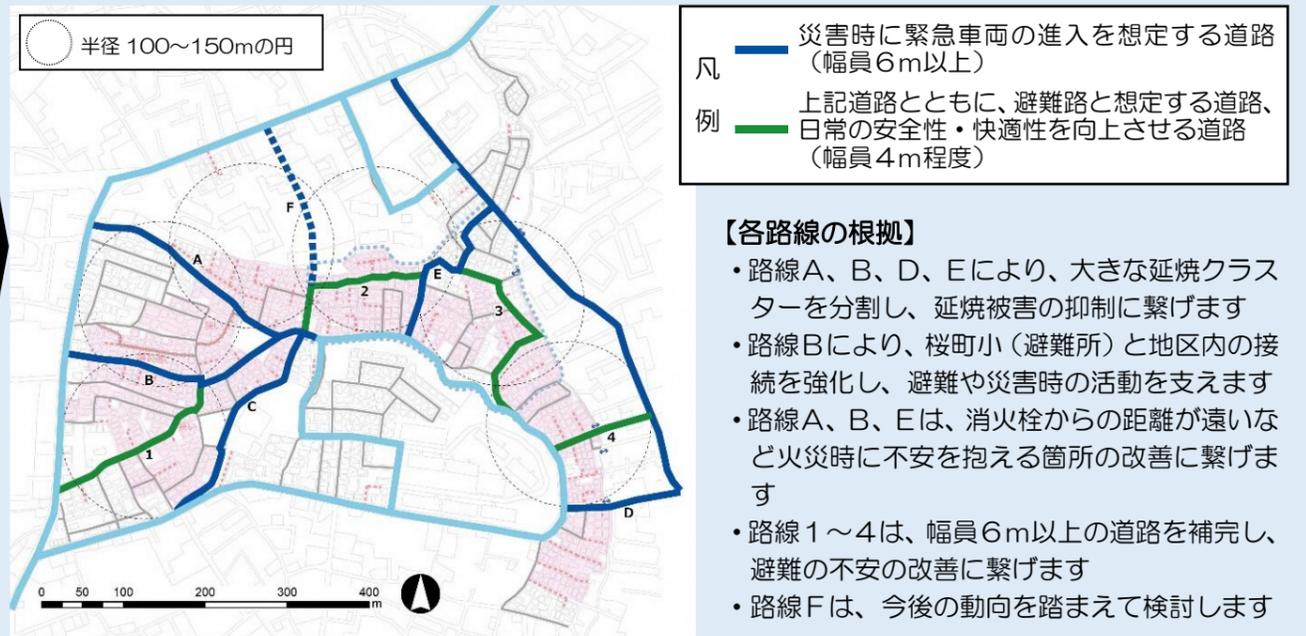
## 安全な市街地の形成に向けた道路ネットワークの考え方

- 幅員6m程度の道路は、「防災上の基本ネットワークを形成する道路」とされており、安全な市街地を形成するために、概ね250m間隔での配置が望ましいとされています。
- 当地区では、複雑な現状の道路配置を考慮し、下記の図のように、区内の任意の場所（★印）から100～150mの範囲内に幅員6m程度の道路を配置する考え方をしています。



## 道路ネットワーク（検討案）

道路ネットワーク（検討案）とは、防災上安全な地区にするための理想的な道路ネットワークの一案です。



### 【各路線の根拠】

- 路線A、B、D、Eにより、大きな延焼クラスターを分割し、延焼被害の抑制に繋がります
- 路線Bにより、桜町小（避難所）と地区内の接続を強化し、避難や災害時の活動を支えます
- 路線A、B、Eは、消火栓からの距離が遠いなど火災時に不安を抱える箇所の改善に繋がります
- 路線1～4は、幅員6m以上の道路を補完し、避難の不安の改善に繋がります
- 路線Fは、今後の動向を踏まえて検討します

グループ別検討の記録

## A班の検討結果

- A路線**
- 駅へ行くには便利な道路
  - 利用者が多い
  - この道路の改善を住民が望んでいることは間違いない
  - 道路を整備するために水路に蓋をかけると良い

- 落合公園の活用**
- この辺りの地域にとって公園が重要なポイントであるならば、公園を中心に、住民が避難できる計画をつくってはどうか
  - 公園の地下に貯水槽をつくる

- F路線**
- 避難路としては、防災上の効果が大きい
  - 住民が避難する道路としては位置付けてはどうか

A班の方のお住まいのエリア

- 火災の延焼について**
- 火災の延焼に対して、有効な道路幅はどれくらいなのか？
  - 沿道の建物を燃えにくくすることとあわせて延焼を抑止できる

- 地震による倒壊・道路の閉塞**
- 地震がくれば建物は倒れて道路をふさいでしまう。
  - 特に地震に弱い老朽住宅を改善しないといけない

- 道路整備の代替地が用意されている

- 建替えについて**
- ここは高齢者が多く住んでいる町
  - 高齢者には建替えの余力はない
  - これからの建替えの話は高齢者にとって考えにくい
  - 空き地には家が建ってしまう

- 道路を整備するならば県道からの入りやすさを改善してほしい

- 桜町小学校**
- 桜町小学校は避難所として適切か（大雨の際は、グラウンドに水が溜まる）
  - 県道側だけでなく、新井宿駅側の門からも入れるが、周知されていない
  - 学校とも連携した防災まちづくりの検討・連絡調整をのぞむ。

- B路線**
- 小学生の放課後の通り道となる。車はあまり入って来ない
  - 車が通らないようにしたい
  - 小学生の通学路として、安全な道にしたい

- 冠水**
- この部分に雨が集中する
  - 冠水は部分的には改善されたが、土地が低い場所には水が入り込む
  - 冠水も防災のテーマの一つ
  - 道路ネットワークの整備を利用して、冠水も改善できるとよい

## B班の検討結果

- A路線**
- 今すぐできることとして、水路に蓋をかけて道を拡げてもらいたい
  - ただし、沿道の家屋と道路の間で段差があるので、その処理の問題がある
  - 本来、もう少し広い道でもよいが、拡がった後、車が通らないようにしたい
  - 道路に傾斜があるので、積雪時は危険。早急に整備してもらいたい

- A路線のクランク部分**
- 狭くなっているクランク部分は、隅切りをすれば十分違う。避難等がスムーズにいく

- 道路整備について**
- 道路際まで家が建っている敷地が多く、道路を拡げる場合家を削らなければいけなくなる。現時点でできることをしたほうがよい
  - 道路整備は少しずつ建替えができることから拡げていくという長期的な考えでやっていくしかないと思う

- 県道の歩道**
- 県道の歩道を至急整備してもらいたい。子どもが1人通るのが精一杯で、車もスピードを出して危ない

- バス通りとの接続部分**
- 見通しが悪く、カーブかつ坂道で危ない
  - C路線の整備の際は、バス通りとの接続部分をスムーズにしたい
  - 歩道が張り出している部分の処理の問題がある
  - 歩道に樹があり、通りづらい。歩道はないと困るが1mでも良いと思う
  - 歩道部分を歩道橋のように高架にすれば、いくらか拡げられる。車道ではないので、それほど荷重はかからないと思う



- 駐車場部分が非常に狭いので改善したい。その先がクランクなので鉢合わせになるとバックも危険。できることから改善してほしい

- 3路線**
- 側溝の蓋がかかっている部分があり、蓋をすれば広く使える
  - 水が溢れるので側溝も蓋をしてよいのかという問題もある
  - 昔の作りなので排水も満足いくものができず、よく詰まっていた。費用もかかるし時間もかかるが、やらないわけにはいかないと思う

- C路線**
- 片側が崖地なので、拡げることはできると思う
  - 部分的に狭いので、一方通行にできると良いが、同意が得られるか課題である

- D路線**
- 人や車が良く通る道
  - 川の反対側は駐車場なので、早く整備できるかもしれない
  - 川の手前では、建替えているところもある